

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-51C	14-067	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol drinking and upper aerodigestive tract cancer mortality: a systematic review and meta-analysis. 飲酒と上部気道・消化器がん死亡との関連 —メタアナリシス—		
執筆者		
Li Y, Mao Y, Zhang Y, Cai S, Chen G, Ding Y, Guo J, Chen K, Jin M.		
掲載誌		
Oral Oncol. 2014 Apr;50(4):269-75. doi: 10.1016/j.oraloncology.2013.12.015.		
キーワード		PMID
飲酒、上部気道・消化器がん、死亡、メタアナリシス、疫学研究		24405883
要 旨		
<p>目的： 上部気道・消化器がんは、世界において最も高頻度にみられるがんであり、がん死因の第1位を占める。本研究では飲酒と上部気道・消化器がん死亡に関するメタアナリシスを実施した。</p> <p>方法： 文献検索はPubMed及びISI Web of Scienceを使用した。</p> <p>結果： 2,976名の死亡を含む10の研究を選択した。飲酒なし・時々飲酒する群を基準とした少量飲酒群(12.5g/日以下)、中等量飲酒群(12.6-49.9g/日)、多量飲酒群(50.0g/日以上)の上部気道・消化器がん死亡の相対危険はそれぞれ1.26(95%信頼区間: 0.94-1.67)、1.79(1.26-2.53)、3.63(2.63-5.00)。この関連には量的反応性が認められた。</p> <p>結論： 中等量～多量の飲酒は上部気道・消化器がん死亡と正の関連がみられた。飲酒量を制限することでリスクを低減できる可能性が示唆された。</p>		